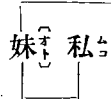


兩婿相呼姪



親類書

〔視聽草十集八〕道富丈吉由緒書

○按ズルニ、親屬圖ハ、尙ホ禮式部服紀上篇ニ在リ、宜シク參照スベシ。

本國阿蘭陀國あむすてるだむ

生國肥前國長崎

道富丈吉

一父

へんでれきとうふ

右とうふ儀は、阿蘭陀國之都あむすてるだむ住居、先へんでれきとうふ倅にて、父存生之内は、ゆにおると稱し、父死後之名を繼ぎ罷在候○中略

親類書

父方

一祖父

阿蘭陀國あむすてるだむ住居

先へんでれきとうふ死

一祖母

右同斷、あれんきさんでるね

すゐんき死娘、まるがれたねすゑんき

一父

寛政十一未年始而渡來仕、翌申年、再渡、以來在留仕、加美職相勤罷在候、

へんでれきとうふ

一母

長崎新橋町住居

土井徳兵衛死娘、よう

一伯母

阿蘭陀國あむすてるだむ住居

父とうふ姉、ゐるれむやこふへッテ妻

一同

右同斷

同へんやめんけいせるまん死妻